

# 基本目標検討シート

第4次長期総合計画			
基本目標	① 基本目標をめぐる課題	基本的な施策	② ①に対応した施策を展開する上での基本的な考え方
にぎわいと活力あふれるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちのにぎわいと活力をはぐくむためには、市民一人ひとりのいきいきとした活動を源に、身近なつながりをはじめとして、人と人、人と地域、そして地域と地域で交流や連携することが重要です。</li> <li>・若者から高齢者まで、だれもが多様な活動に参加することができ、さまざまな分野で地域の担い手として活躍することができる環境づくりが求められます。</li> <li>・地域産業は、東久留米で働き、暮らす人々の生活にうおいを与え、にぎわいと活力を生み出す重要な役割を担っています。</li> <li>・都市が安定して発展していくためにも、地域経済の活性化は不可欠です。</li> </ul>	<p>新たな活気を生み出す産業の振興と消費生活の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちのにぎわいや活力が生まれるよう、地域と連携して身近な商工業の活性化を支援するとともに、市内の資源を生かした新たな産業などの創出を図ります。</li> <li>・農業をリードする新たな担い手の育成を支援するとともに、農産物のPR強化や市民が日常的にふれあい、理解を深めることで地産地消を推進し、都市農業の振興を図ります。</li> <li>・消費者の安全・安心を確保するために、消費生活に関する相談や情報提供を行います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業の活性化や都市農業の振興を通じ、生産と消費などのつながりや人々の交流が盛んになることが必要です。</li> <li>・快適な消費生活をおくるためにも、消費者が安心を得るための取り組みが求められます。</li> </ul>		<p>地域力向上への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会など、既存のコミュニティ組織の活性化と、新たにコミュニティ活動へ参加しようとする意識の醸成を図るため、各種事業の実施や関連情報の積極的な提供に努めます。</li> <li>・群馬県高崎市榛名地域との間でこれまで培ってきた、市民の交流活動を支援します。</li> </ul>

第5次長期総合計画の策定に向けた検討	
③ 基礎調査報告書等から抽出した現状や課題等	④ ③に対応した方向性
<p><b>【施策の評価・検証より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内農産物のPRや、民間事業者との共催による農業体験ウォーキングの実施など充実を図っている。</li> <li>・農地の減少は続いており、農地保全是引き続き大きな課題である。</li> <li>・資金融資制度において起業創業希望者の利便性向上を図るため、制度の見直しを行った。</li> <li>・ブランド認定事業を紹介に委託し、市内の優れたサービスや商品について認定を行った。</li> <li>・都の補助金を活用し、中小企業の労働環境と活力の維持向上を図った。</li> <li>・催し物や農産物などの積極的な情報発信に努めているが、さらなる有用な情報の発信について検討する必要がある。</li> <li>・新たな産業の誘導については、現状においては新たな事業用地は見つかっていない。</li> <li>・消費生活相談件数は増加傾向にあり、高齢者の相談割合が高く、相談内容が深刻化していることから、特に高齢者単独世帯の被害防止と早期発見に努めるなど消費者教育の充実が重要である。</li> </ul> <p><b>【基礎調査データより】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会経済情勢として、働き方改革やSociety5.0(科学技術政策)の実現に向けた取り組みが求められている。</li> <li>・東京都においては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、活発な経済活動が見込まれる。</li> <li>・性別や年齢、障害の有無に関わらず、誰もが自らの経験や能力を活かし、あらゆる場で活躍できる環境づくりや、地域経済の活性化が求められている。</li> <li>・第1次産業への就業構成比は26市の中で3番目に高い。</li> <li>・農家の戸数、就業人口はともに減少傾向にある。</li> <li>・農家の経営耕地面積は減少傾向にある。</li> <li>・農業後継者のいる農家の割合が減少している。</li> <li>・平成27年市民意向調査においては、90.0%の市民が農家の農地は残してほしいと答えた。</li> <li>・卸売業・小売業の事業所数、従業員数、年間販売額は増加している。</li> <li>・製造業の事業所数は減少しているが、従業員数は増加している。</li> <li>・平成20年度以降、消費生活相談件数が増加しており、平成20年度から平成29年度にかけ約100件増加している。</li> </ul> <p><b>【市民・団体アンケートより】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20.1%の市民が市の目指すべきまちの姿として「商業や工業の盛んな、活力のにぎわいのあるまち」と答えた。</li> <li>・39.2%の市民が本施策に満足していない。</li> <li>・67.3%の市民が本施策を重要と考えている。</li> <li>・市民が考える優先すべき取組みとして、「商店街の振興」、「地域活性化に向けた取組」、「商工業の活性化」、「地産地消の推進」の順で高くなっている。</li> <li>・企業・団体の共通した意見として、「商店街が活性化するような土地利用」や駅前などの「にぎわい創出」に課題があることが挙げられた。</li> </ul>	<p>下段の【ご意見の視点】によるメモ欄にお使いください。</p> <p>(例)農地保全に向けた取り組みは重要だ。</p>
<p><b>【施策の評価・検証より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会などの地域コミュニティに参加する世帯が減少しており、住民の高齢化により活動を継続することが困難になってきている自治会も生じてきている。</li> <li>・一人暮らし高齢者や障害者などのよう要援護者の見守りや災害時の助け合い、地域ぐるみの防犯対策の重要性が高まっている。</li> <li>・地域コミュニティの大切さが再認識されていることから、地域のつながりを進めることが必要となっている。</li> <li>・コミュニティ施設の老朽が進行しており、安全かつ効果的に施設を使用していくため、機能の維持、保全を図る必要がある。</li> <li>・高崎市榛名地域とは、文化、スポーツ、教育等で培ってきた交流の実績をもとに、両地域の魅力を伝える事業を行っていくことで、今後さらに地域間の交流が活性化することが望まれる。</li> </ul> <p><b>【基礎調査データより】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度における高崎市榛名地域との地域間交流事業は、計14事業。</li> </ul> <p><b>【市民・団体アンケートより】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10.1%の市民が市の目指すべきまちの姿として「日常的なコミュニティ活動が盛んで、市民の自治意識の高いまち」と答えた。</li> <li>・29.0%の市民が本施策に満足していない。</li> <li>・45.3%の市民が本施策を重要と考えている。</li> <li>・市民が考える優先すべき取組みとして、「コミュニティ施設の有効活用」、「地域のつながりづくり」、「コミュニティ施設の維持管理」、「自治会活動の支援」の順で高くなっている。</li> </ul>	

**【ご意見の前提】**  
 上記の現状や課題のほか、このテーマにおいてご自身が考える課題等を踏まえ、右欄(④)の方向性についてご意見をお願いします。

**【ご意見の視点】**

- ・②から引き継ぐべき事柄
- ・②に不足している事柄
- ・②から、もはや削除すべき事柄
- ・その他、施策の位置づけに関すること(キーワードのみのご意見でも結構です)